

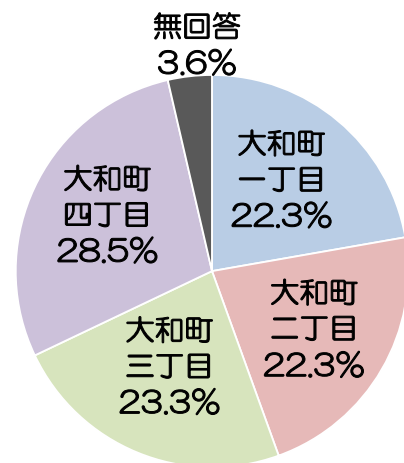
内容：まちづくりのルールに関するアンケート調査

期間：平成30年11月13日～11月30日

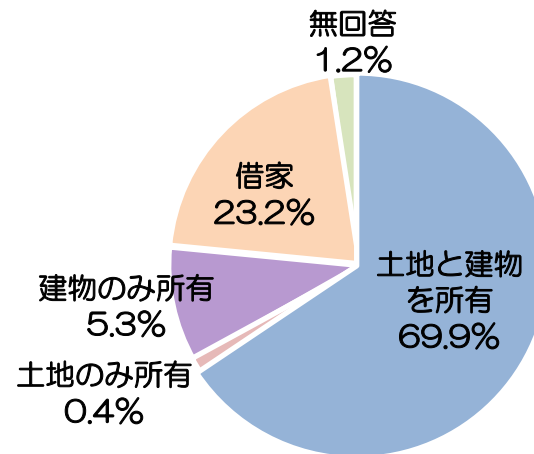
回答数：580名

【参考：大和町地区内の建物棟数 約3,900棟】

1-1. お住まいの場所はどこですか。

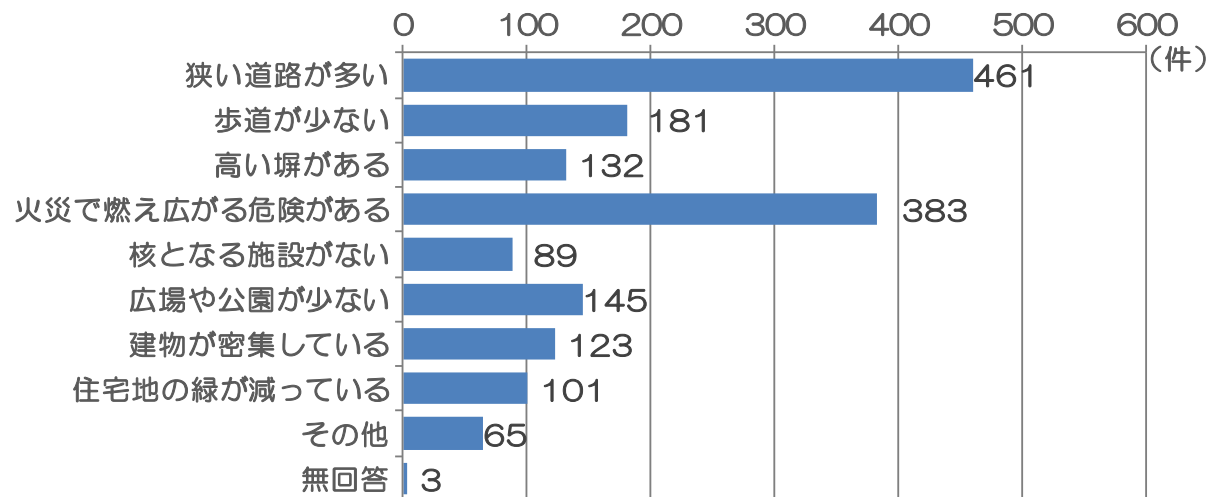


1-2. お住まいの状況をお聞きます。



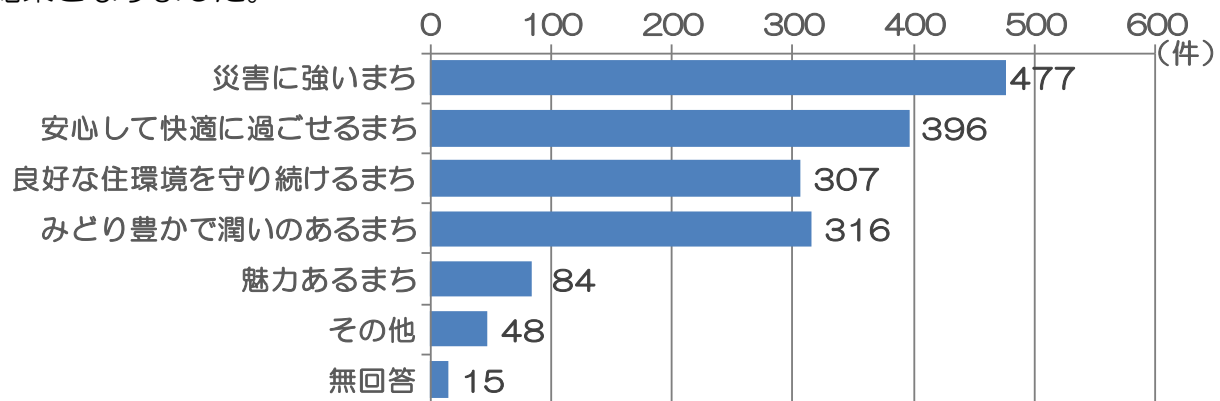
2. 皆さんが認識するまちの課題は何ですか。

「狭い道路が多いので、救急車や消防車の通行が心配」「木造住宅などが密集していて、火災に際して燃え広がる危険を感じる」という結果でした。



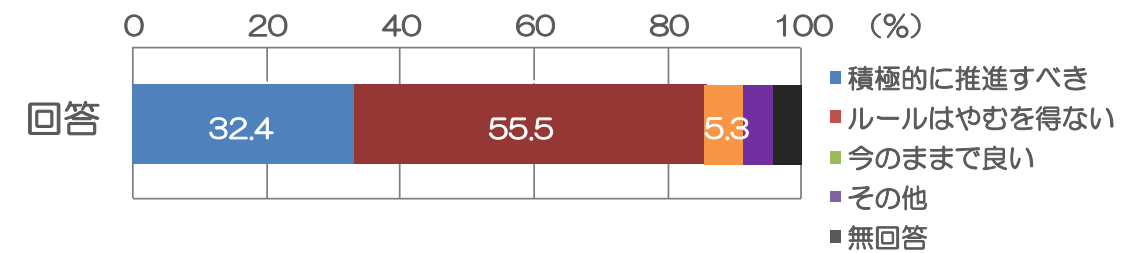
3. 皆さんが望むまちの将来像は何ですか。

「災害に強いまち」を望んでいる方が最も多く、「安心して快適に過ごせるまち」をあげる方も多い結果となりました。



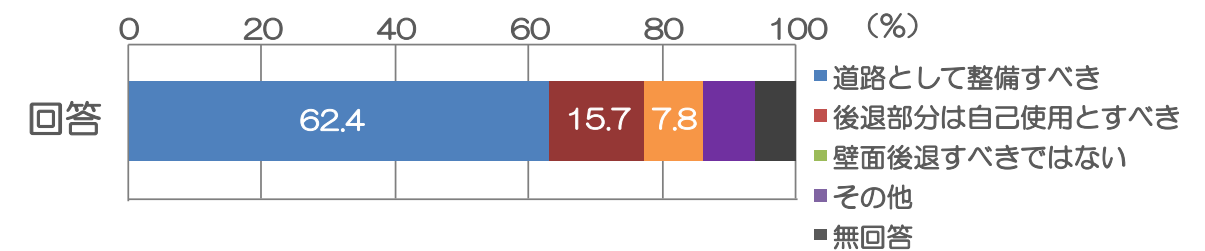
4. まちづくりのルールを定めることをどう思いますか。

「積極的に推進すべきだ」「ルールはやむを得ない」など、まちづくりのルールが必要だと回答された方が全体の約88%でした。



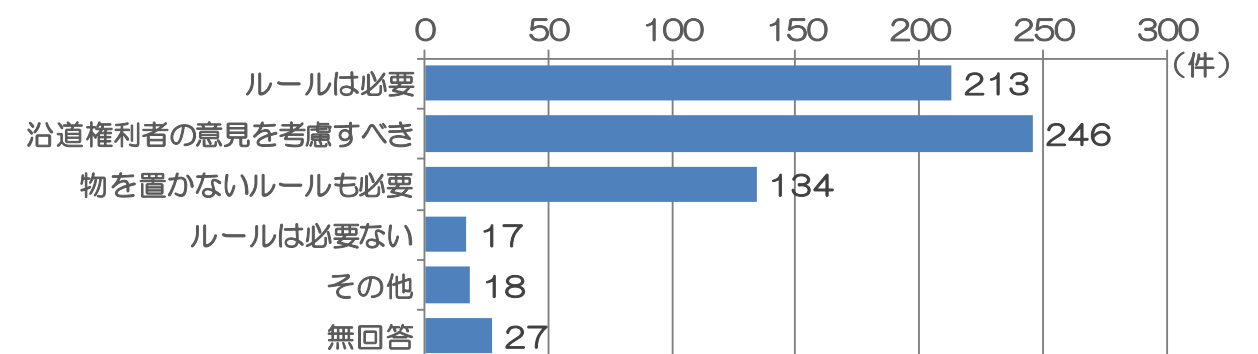
5. 避難道路(整備路線)を建て替えの際に6m以上の道路に整備していくことをどう思いますか。

全体の約62%の方が道路として整備していくべきと回答しています。



6. 避難道路(整備路線)の整備における建て替えしやすくするルールはどう思いますか。

「ルールは必要だが沿道権利者の意見を考慮すべき」「建て替えしやすくするルールが必要」「物を置かないルールも必要」と、ルールは必要との回答が多くを占めています。



7. ブロック塀などを制限するためのルールは必要だと思いますか。

回答者の約93%の方が「ブロック塀などの制限が必要」としており、「透過性のフェンス」や「緑化・生垣」を選択した方もいました。

